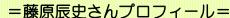
## 八幡市民アクション発足1周年 記念講演会

京都大学人文科学研究所准教授

はいた。たっしている。

《講演テーマ》





◆1976 年、北海道旭川市生まれ、島根県横田町(現奥出雲町)出身◆京都大学人文科学研究所助手、東京大学農学生命科学研究科講師を経て、現在、京都大学人文科学研究所准教授◆専門は農業技術史、食の思想史、環境史、ドイツ現代史。「食べるもの」と「食べること」から、歴史学を組み建て直すことを目指されている◆主な著書に『ナチスのキッチン「食べること」の環境史』、『トラクターの世界史―人類の歴史を変えた「鉄の馬」たち』、『食べること考えること』、『戦争と農業』、『給食の歴史』など〇「自由と平和のための京大有志の会」結成の発起人のひとり。'15年7月に「同会」が発表し、平和を希求する人たちの熱烈な支持を受けた「声明書」(右記参照)は、藤原さんが中心になって作成したもの。

## 2019 # 2 A B (£)

午後7時開会(6時30分開場) 八幡市文化センター3階 第3会議室

※保育所を用意しています。ご利用ください。



戦争は、防衛を名目に始まる。 戦争は、兵器産業に富をもたらす。 戦争は、すぐに制御が効かなくなる。

戦争は、始めるよりも終えるほうが難しい。 戦争は、兵士だけでなく、老人や子どもにも災い をもたらす。

戦争は、人々の四肢だけでなく、心の中にも深い 傷を負わせる

精神は、操作の対象物ではない。生命は、誰かの持ち駒ではない。

海は、基地に押しつぶされてはならない。空は、戦闘機の爆音に消されてはならない

血を流すことを貢献と考える普通の国よりは、知を生み出すことを誇る特殊な国に生きたい。

学問は、戦争の武器ではない。 学問は、商売の道具ではない。 学問は、権力の下僕ではない。

生きる場所と考える自由を守り、創るために、 私たちはまず、思い上がった権力にくさびを打ち こまなくてはならない。

(資料代として500円いただきます。)

## 主催 八幡市民アクション

【お問い合わせ】 日名子大介 090-2595-3392

